

### サイバーセキュリティ戦略で示された課題

情報セキュリティに係るリスクの深刻化に対応し、情報セキュリティ水準の向上を図るためには、

人材の量的不足の解消に向け 積極的な取組が必要であるとともに、教育だけでは得られない突出した能力を有する人材の確保も大きな課題。

そのためには、社会全体で育成し活用するための仕組みが必要。

### 人材の量的・質的不足

情報セキュリティ従事者 約26.5万人

うち質的不足 約16万人

さらに量的不足 約8万人

これら人材の雇用の受け皿も不可欠

### 取組の方針

我が国の情報セキュリティの水準を高めるため、人材の「**需要**」と「**供給**」の好循環を形成する。

#### 【需要】経営層の意識改革

経営層の意識改革を促し、情報セキュリティを経営戦略として認識させるための取組を推進。  
製品・サービス調達における情報セキュリティの要件化等を通じ、投資意欲を喚起して、人材の需要を創出。

#### 【供給】人材の「量的拡大」と「質的向上」

実務を担うボリュームゾーンに当たる既存のIT技術者に、情報セキュリティを必須能力として位置付ける。

技術者に情報セキュリティを意識させるための取組

情報セキュリティ能力の評価基準・資格等の整備

情報セキュリティの実践的スキル向上のための取組

グローバル化する脅威に対応できる、高度な人材や突出した能力を有する人材を育成・発掘。

高度な専門性を持った情報セキュリティ人材育成のための高等教育の強化

最先端の分野で活躍する突出した人材の発掘及び更なる能力向上

とりわけ、政府機関等においては、訓練・演習等による内部人材の育成、優秀な外部人材の登用に率先して取り組む。  
さらに、調達における情報セキュリティの要件化等を通じ、我が国のセキュリティ水準の向上、人材の需要喚起につなげる。